

平成30年度 自衛消防隊研修会

〔開催日〕 平成30年9月10日（月） 9：10～16：20

〔場 所〕 茨城県立消防学校 体育館・校庭

〔参加者〕 13事業所21名

〔講 師〕 4消防本部 8名

（那珂市消防本部、大洗町消防本部、鹿行広域事務組合消防本部、
ひたちなか・東海広域事務組合消防本部）

〔指導員〕 4事業所 6名

（原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所、大洗研究所、
日本原子力発電）

〔訓練概要〕

（1）座学

① 自衛消防に関する事項について

（2）実動訓練

① 空気呼吸器等の装着訓練

② 屋内消火栓の取扱要領（ホース延長・収納等の操作）

③ 消防自動車からの放水・吸水訓練

（3）総合訓練

指揮隊（含支援隊）、消火隊、救助隊に分かれて、実放水を含む火災
防御・救出訓練を実施（想定：平屋事務所より出火、延焼中。職員2名
逃げ遅れ。）

原子力事業所安全協力協定加盟事業所の「平成30年度自衛消防隊研修会」
は、13事業所から21名が参加して開催されました。

今年度で10回目となる本研修会は、昨年度に引き続き、参加対象者を自衛
消防隊の初心者を中心に募集し、体育館での座学（自衛消防に関する事項につ
いて）を行い、その後実習として、体育館及び校庭において実動訓練（① 空
気呼吸器等の装着訓練、② 室内消火栓の取扱要領、③ 消防車からの放水・吸
水訓練）を行いました。

総合訓練では、講師の運転する消防関係車両4台に分乗し、校庭を一周し火
災現場に到着、指揮隊大隊長の指示の下、ハンドマイクを使用して状況確認を
行いながら、消火隊による放水、救助隊による建物内からの負傷者（ダミー）
の救助など、実際の火災現場に近い形での訓練を行うことができました。

当日は、予想されていた雨も降ることなく、予定した訓練内容を全て終了す
ることができました。

なお、今回の研修会では、東海・大洗原子力規制事務所原子力防災専門官なら
びに茨城県原子力安全対策課原子力防災調整監にご視察頂いた他、NHK水戸
放送局の取材があり、お昼のNEWS WEB及び夕方の県内ニュースで紹介され
ました。



開校式



座学



(空気呼吸器装着訓練)



(屋内消火栓取扱訓練)

実動訓練



(消防車からの放水訓練)



総合訓練